

本校は、浜松市の中心より北西に位置し、浜名湖や里山等の豊かな自然に恵まれた、全校児童810名の小学校です。学校教育目標を「つながり 高め合う」とし、人との交流を大切に、お互いを認め合いながら成長する子の育成を目指しています。縦割り班活動で清掃を行ったり、6年生が1年生とペアを作り積極的に手伝いに行ったりと、つながり



本校は浜名湖の西岸に位置し、湖西市の行政・経済の中心地区にある、全校生徒498名の市内で最も規模の大きな中学校です。外国人の居住が多い地域であり、外国人生徒が全体の8%を占めています。

子供たちは、素直で明るく、人懐っこい子供が多いです。何にでも真面目に一生懸命取り組み、6年生を中心にあいさつ運動や学校行事を盛り上げています。その反面、繊細さをもった子供もおり、様々な場面でも思い悩んでしまうこともありま



す。体の不調を訴え来室しても、心が元気にならないと体の調子も戻りません。保健室では、担任や生徒指導等の多くの職員と協力をし、その子自身の心に寄り添い、笑顔が戻るように日々サポートし、送り出しています。

中学校区には、2つの小学校があり、年2回の校区内研修が行われています。連携を柱とし、各学校での様子や取り組みなどを伝え合い、情報交換を行いながら交流をしています。養護教諭間でも日頃から連携を図り、浜松市学校保健会主催の

浜松市立和地小学校

養護教諭 木下 香

学校保健週間や学校保健委員会でもテーマや講師を揃えて、実践を深めています。現在、保健室では市の加配措置もあり、複数配置で勤務しています。本校は、児童数が減少傾向にあるとはいえ、800人以上の児童が在籍し、中には

様々な家庭環境や複雑な事情を抱えた子供も多くいます。こうした状況において、複数体制で業務にあたることはとても有意義です。日頃から互いに相談ができた、それぞれの判断を確認することができたりしますし、何よりも心強いです。ま



直接表すことで、心が温かくなり、自分の行動への自信につながることを考えています。来室した子供たちにも積極的に声掛けをして「ありがとう」の大切さを伝えていきます。子供たちだけでなく、職員間でも、「ありがとう」があふれる心豊かな学校となるように、声掛けを続けていきたいです。



生徒は素朴で人懐っこい子供が多く、距離感の近いコミュニケーションをとる生徒が多いです。その一方で、発達、国籍、家庭環境等様々な背景がある上、思春期の難しい人間関係の中で揺れる生徒も多くみられ、スクールカウンセラーは無くしてはならない存在

湖西市立鷺津中学校

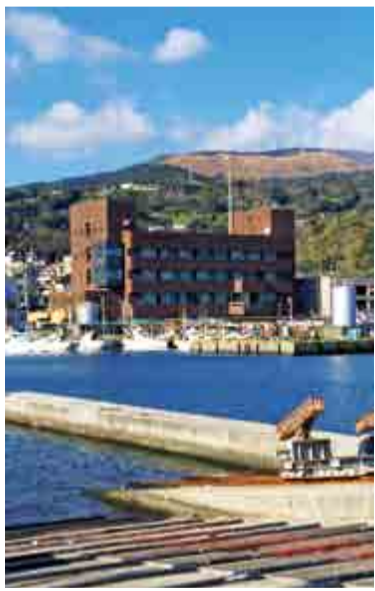
養護教諭 伊藤奈美子

今年度の本校生徒の実態としては、スマートフォンやタブレット、ゲーム、テレビ等、メディアの長時間使用が課題として見えてきました。そこで、身体測定時にはメディアとの付き合い方について指導し、「自分が必要以

り、意識を変えていく」とする姿がみられました。今後は、生徒自身が主体的に取り組めるよう生徒保健委員会を活用したり、家庭に働きかけたりと、継続的に取り組んでいきたいと思っています。休み時間の保健室は、いつも大変賑わっ



庁舎を望む稲取地区



庁舎全景

げんきな事業所

東伊豆町役場

(賀茂郡東伊豆町稲取3354番地)

東伊豆町は伊豆半島東岸にあり、天城山麓を背に伊豆七島を望む風光明媚な6つの温泉を有し、人口は12,100人余りで観光業が主な産業となっている温泉地です。

現在の東伊豆町は、昭和34年5月3日に稲取町と城東村が合併し生まれました。温暖な気候で豊富な海の幸、山の幸に恵まれ温泉地もあることから、昭和36年に伊豆急行線が開業したことにより、首都圏からの観光客が増え観光地として発展してきました。

山の幸はニューサマーオレンジが代表的で、海の幸は特産品として知られる金目鯛がブランド化され「稲取キンメ」として紹介されています。

おり、その美味しさは日本一で有名です。また、日本3大つるし飾りの一つ、江戸時代後期の頃を発端とし、子供の健やかな成長を願って作られる「雛のつるし飾り」は稲取が発祥の地としても知られており、毎年1月から3月までの祭りの期間中にはメイン会場である「雛の館」をはじめ、町内の各展示会場でご覧いただくことができ、多くの方に来場していただいております。

海に目を向けますと、満月が導く海のラプストリート北川の「ムーンロード」は、日本百名月にも名を連ねて人気のスポットとなっています。山に目を向けますと、天城山の麓には「細野高原」があり、春には山菜狩りや賑わい、秋には東京ドーム26個分に相当する広大なすずきの原野が圧倒的な景観で迎えてくれます。その細野高原をはじめ町全体でPV、CM、ドラマ、映画とロケ地としても数多く利用されています。実は皆さん一度はわが町をご覧いただきたいと思っています。

そんな東伊豆町の稲取漁港前には東伊豆町役場は、本庁をはじめ熱川支所、熱川・稲取幼稚園、熱川・稲取小学校、熱川・稲取中学校、図書館、保健福祉センター、給食センター等公共施設に約140名の職員が勤務しています。

【職員の健康管理】
職員の健康状態の把握や疾病予防の取り組みとして、臨時職員を含む全職員を対象に毎年健康診断を実施し、健康的な生活を送るために支援が必要な職員には外部保健師による特定保健指導を行い、病気の早期発見早期治療に繋ぐため再検査等の必要な職員には職務免除により実施をしていただき、受診報告を徹底して行っています。

また、最近の傾向としてストレスの多い社会で職員の精神面の健康を保持することも重要な課題となっており、全職員を対象に毎年「ストレスチェック」を行い、自覚しにくいストレス状態などを把握に努め、早期に対応しています。今後は女子トイレにも設置予定で、その他ポピュレーションアプローチとして、全職員を対象にメンタルヘルス研修やハラスメント研修を行い、職員相互に認識を深め健全な職場環境の確立に努めています。



保健活動 (メンタルヘルス研修)

東伊豆町ホームページ
https://www.town.higashizu-shizukakajp